

自動認識の世界をより身近に Flags

vol.160 2018
9月号

『自動認識総合展&国際物流総合展の見どころ』

今月9月は毎年恒例になりました自動認識技術の祭典「第20回自動認識総合展」、また2年に一度の国際物流総合展が同時開催となり東京ビックサイト全館を埋め尽くしての大イベントとなります。

今号は、展示会のトレンドとなる市場動向を踏まえて、今後の自動認識技術を考察していきます。



iPhone/Android端末対応 UHF帯RFID ハンディリーダーライタ RFD8500

マルチプラットフォーム対応。Android、iOS各種スマートフォン、タブレットとBluetoothで簡単接続。RFIDハンディターミナルとして活躍。

期待高まる自動認識技術

ICT(情報通信技術)がコンピュータの処理能力の飛躍的な向上に伴い、目まぐるしく進化を遂げ、国際市場は「ICTを駆使した革新的かつ従来の思考を破壊的にする新たな製品やサービスの提供」といった潮流が激しさを増しています。

トレンドのキーワードとしては、「IoT」、「インダストリー 4.0(第4次産業革命)」、「ブロックチェーン」、「フィンテック(Fintech=金融改革/デジタル決済等)」、国内事情を見ると「少子高齢化」、「コンビニICタグ1000億枚宣言」そして2020年には「東京オリンピック開幕」と、特に日本国内は産業、物流、リテール、日常生活の全てがもの凄いスピードで新しい時代に向かって動いています。

インターネットの普及に合わせて成長し情報リテラシーに優れるミレニアル世代が台頭して、これまでの世代と価値観やライフスタイルまでも大きく変貌させる新たな時代が開拓されつつあり、私達は今、まさに時代の過渡期に立っているところです。

自動認識総合展の基調講演においても経済産業省より「第4次産業革命とロボット・ドローン」や特別講演で「QRコード・スマホ決済によるキャッシュレス」など、旬な情報が収集できる興味深いセミナーが多数企画されています。

自動認識技術は、これらICTの入り口である情報入力部分を支える重要な役割として必要不可欠となり、その進化の期待が高まっています。

自動認識総合展ブースのみどころ

今年の当社のコンセプトは、自動認識業界を牽引するリーダーメーカーとして「自動認識技術で生産/物流も働き方も両輪改革」を掲げ、新時代への改革をアピールします。

まずは、「コンビニICタグ1000億枚宣言」や大手アパレルメーカーによる全店舗ICタグ採用発表など、爆発的に市場規模が広がっているUHF帯RFIDの活用に合わせて、ブース正面に「一括検品トンネルリーダー」の実機を配置し、UHF帯ソリューションの紹介をメイン

テーマに致しました。

既に当機をご採用頂いている物流センター様では、抜群の読取り性能に沢山のご好評を頂いております。

その他、様々な運用シーンでお使い頂ける最新のハンディターミナルや固定式リーダーライタ、UHF帯タグを展示しています。

NFCの活用事例としては、最短3営業日で導入可能な作業実績収集パッケージ「WMステーション」、最近、街中で見かけるようになった無人駐輪場の精算機能付き入退ゲート、組込み用NFCリーダーライタなどを集め、ソリューションのご提案をしています。

2次元バーコード・マシンビジョンとしては、「一台4役のスカナ」として、2次元コードリーダーに“文字認識”、“画像マッチング機能”、“印字品質検証”を



←自動認識総合展セミナーの詳細はこちら



国際物流総合展セミナーの詳細はこちら→



300個/3秒!

UHF帯RFID トンネルタイプ一括読取装置 RFID Gate Tunnel System

UHF帯RFIDリーダーライタを内蔵したトンネルタイプの一括読取装置は簡単に設置可能です。お客様の条件に応じて最適な読み取り能力を発揮するためのカスタマイズ実績が豊富にご覧いただけます。

搭載した機器をご紹介します。

電子部品のトレーサビリティに欠かせない「DPM用2次元コードリーダー」に加え、PLC側のプログラム開発無しでシームレスにスキャナとの接続可能にした「PLCリンク機能」など、新製品を多数展示しています。

昨年の発売開始から大ブレイク中のインテリジェントポケットターミナル「MID-100」等々、みどころ満載の企画で出展しております。

国際物流総合展ブースのみどころ

物流業界では、ICTの発達に連れ、インターネット通販の拡大と宅配サービスの増加など、近年物流サービスの需要が急増し、ドライバーが不足する等の事態に直面しています。

物流業界全体が抱える労働力不足対策は、労働人口の減少で、益々厳しい現実になっています。

労働環境の悪化や慢性的な人手不足を解消するために、政府を巻き込み業界全体で業務見直しが始まり、働き方改革が進められてきています。

AI搭載ロボットが庫内のピッキングを行ったり、自動運転による貨物運搬などの省人化等、今後のAI技術を含んだICTが業界を支える重要な柱になります。

当社は、物流展において、フォークリフトへ車載用の専用パネルコンピュータや長距離読みスキャナ、液体レンズを採用した読み取り距離を自由に調整可能な最新型の2次元コード固定式スキャナMCR-F530を展示しています。

ターンテーブルを使って大きささまざまなワークを1台のMCR-F530で読み取る実演も企画します。

その他にもロジスティクスの現場でラストアイテムとなる自動認識機器の展示やソリューションなどで、省力化に少しでもお客様のお役に立てる事例をご紹介します。

最後に

展示会を見逃してしまったお客様や技術トレンドにご関心のあるお客様は、どうぞお気軽に当社営業担当まで、ご相談ください。

時代の要望にマッチした数々の導入実績から、お客様に一番適したソリューションのご提案をさせていただきます。



フォークリフト端末
TCP-05Fork

車載端末に要求される“衝撃”、“不安定電源”、“取付け”に応えたフォークリフト車載端末。

ロングレンジスキャナとの組み合わせで業務の効率化

マースウインテック社の『無人ゲート式駐輪場システム』



展示会出展のお知らせ

AUTOID & COMMUNICATION EXPO 第20回 自動認識総合展

2018/9/12(水)-14(金)10:00~17:00
東京ビッグサイト 西ホール

国際物流総合展 第13回

2018/9/11(火)-14(金)10:00~18:00
東京ビッグサイト 東1-6・8ホール

JIMA 総合検査機器展

2018/9/26(火)-28(金)10:00~17:00
東京ビッグサイト 東4・5ホール

当社では、9月に開催される左記の3つの展示会にそれぞれ製品を出展いたします。(会場は全て東京ビッグサイト)

自動認識総合展は、RFID・バーコードなどの自動認識技術の国内最大の展示会です。(9月12日~14日迄3日間)

また同時開催である2年に一回の国際物流総合展は、物流・ロジスティクスの先進情報が収集できる日本唯一・アジア最大級の専門展示会です。(9月11日~14日迄4日間)

「JIMA 総合検査機器展」も2年毎に開催され、最新の検査・計測技術を一堂に集結させた展示会であり、当社のX線検査装置を展示いたします。(9月26日~28日迄3日間)

いずれの展示会も無料招待券をご用意いたしておりますので、お気軽に当社営業担当までお問合せください。

次号予告

2018年 10月号は・・・

『自動認識総合展&国際物流総合展
開催レポート』

についてです。

Flags 10月号は 10月 9日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2018年9月号 Vol.160 2018年9月7日発行

編集・発行 株式会社マーストークンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(218)7661	Fax:052(218)2607
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
X線営業部	Tel:042(484)6155	Fax:042(489)9241

MTS 株式会社マーストークンソリューション

<https://www.mars-tohken.co.jp>